

## インターポール、偽造医薬品に対抗する取組を発表

2013年3月18日

JETRO デュッセルドルフ事務所

インターポール（国際刑事警察機構）は、3月12日、偽造医薬品による被害に対抗するため、世界の大手製薬企業29社と合意に至ったことを発表した。

プレスリリースによると、今回の合意に基づき、450万ユーロに相当する3年間の契約により、インターポールの医薬品偽造・医薬品犯罪（MPCPC）ユニットに新たな任務として医薬品犯罪プログラムが創設される。

本プログラムは、ブランド医薬品とジェネリック医薬品の偽造を含むあらゆる種類の医薬品犯罪の防止ならびに、違法行為に関与して毎年巨額の不正な利益を得ている組織的犯罪網の同定と解体をめざすもので、その重要な任務として、インターネットで医薬品を購入する人々に偽造医薬品の危険性への意識を高めることが挙げられている。

プレスリリースでは、参加企業を代表してエーザイの内藤晴夫社長のコメントも紹介されている。「ブランド医薬品とジェネリック医薬品のどちらも患者様の生命を危険にさらす偽造品による被害を受けています。」「そのため、製薬業界は人的支援を含めてインターポールと協力し、医薬品偽造・医薬品犯罪ユニットの活動範囲を広げています。」

ー インターポールのプレスリリース（英語）は、以下参照 ー

[INTERPOL and pharmaceutical industry launch global initiative to combat fake medicine](#)

ー インターポールのプレスリリース（日本語）は、以下参照 ー

[インターポール（国際刑事警察機構）と製薬企業は偽造医薬品に対抗するためのグローバルな取り組みを開始（PDF）](#)

（以上）